

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆大手企業の夏ボーナス過去最高、建設は200万円超 経団連最終集計

・経団連は大手企業の2026年夏季賞与(ボーナス)の最終集計の結果を公表。平均妥結額は104万2537円と、初めて100万円を超えた。業種別では建設が200万円を上回った。企業の人材不足への危機感を反映。建設の賞与額は平均で202万6633円。業種別の賞与が200万円を超えるのは比較可能な1981年以降で初めて。

◆2027年卒の内々定率84.8%に 4年ぶりの低水準、文系が伸び悩み

・就活サイトを運営する学情が2027年3月卒業予定の大学生・大学院生を対象に実施した調査によると、7月末時点の内々定率は前月比2.5ポイント増の84.8%。7月末時点で85%を下回るのは4年ぶり。内々定率の前年割れは5カ月連続。2027年卒採用ではインターンシップなどを通じた早期選考で、2月末まで過去最高値を記録していた。

◆防衛省、装備品調達数を事前通知へ 企業に設備投資促す

・防衛省は2027年度にも弾薬や無人機など装備品の調達数の情報を企業に事前通知。企業が中長期の事業計画を立てやすい環境を整え、設備投資や新規参入を後押しする。国内の生産能力を拡大し、継戦能力を高める狙いがある。現在の整備計画には、防衛省が5年間で取得する装備品の総数だけを記載している。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆家電量販にエアコン特需、4～6月純利益、ヤマダ13%増・ケーズ2倍

・ヤマダホールディングスが発表した2026年4～6月期の連結決算は売上高は11%増の4202億円、営業利益は17%増の156億円。省エネ基準の引き上げを見据えたエアコンの駆け込み需要が追い風。家電量販店4社の26年4～6月期の決算では、いずれもエアコン特需がけん引して全社最終増益だった。

◆ステンレス薄鋼板、1年2カ月ぶり下げ ニッケル安を反映

・日本製鉄は8月契約分のニッケル系ステンレス冷延薄鋼板の一般流通(店売り)価格を前月比1トンあたり1万円(2%弱)引き下げると発表。値下げは2025年6月以来1年2カ月ぶり。厚鋼板も同程度値下げ。原料となるニッケルの国際価格が6～7月は1ポンド7.79ドルで、5～6月に比べ0.48ドル下落したのを反映させた。

◆住宅省エネキャンペーン、リフォームのワンストップ申請開始

・国土交通省、経済産業省、環境省の3省が連携して実施している補助事業「住宅省エネキャンペーン」において、リフォーム交付申請のワンストップ対応が開始。同一の工事請負契約で複数の事業を併用して申請する場合、提出済みの交付申請から入力情報と提出書類を複製して、他事業の交付申請を作成できる機能。

《 注目商品 》

■岩崎電気、高天井用LED照明器具「レディオック ハイベイ ガンマ」シリーズ

・高天井用LED照明器具「レディオック ハイベイ ガンマ」シリーズをフルモデルチェンジし、明るさクラス各5種類のうちクラス3000～1000を皮切りに順次受注開始。新シリーズは、固有エネルギー消費効率200lm/W前後の高効率設計と、全クラス1.6kg～1.9kgの軽量化を実現。



■ミラタップ 高コスパなビルトイン冷蔵庫

・同社初となる家電ブランド「インヴィエラ」を立ち上げ、第1弾としてビルトイン冷蔵庫を発売。新商品の「インヴィエラ ビルトイン冷蔵庫」は、ノイズレスな外観と、一般家庭でも導入しやすい価格帯を両立。ミニマルデザインや生産の効率化により13万8000円(税込)～という価格を実現。



■LIXIL、循環型素材採用の人工木デッキ

・再資源化が困難な廃プラスチックと廃木材を融合した独自技術の循環型素材「revia(レビア)」を採用した人工木デッキ。木を彫ったような凹凸による美しい陰影と不均一で心地いい木質が特長。カラーは、ライトブラウン、ダークブラウン、グレーの3色。

